

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予察技術情報（第4号）

普通期稲におけるトビイロウンカの発生について

7月中下旬に行った巡回調査において、県中央部、中西部でトビイロウンカ(写真1)の発生が確認されました。発生ほ場数は少なく、確認されたのは幼虫または長翅型の雌成虫のみでしたが、発生面積は27.6haと、平年(0.9ha)の約31倍となっています(表1)。過去10年において7月の巡回調査で本虫の発生が確認されたのは普通期稲では平成26年、令和2年のみで、令和2年には坪枯れ被害が発生しています(写真2)。また、早期稲においても、本虫の発生面積は19.7haと、平年(2.4ha)の約8倍となっており(表2)、例年に比べて多数の飛来があった可能性があります。

向こう1か月の気象予報では晴れの日が多く、気温は平年よりも高いと予想されており、本虫の増殖に好適な条件が続くことから、発生は増加すると考えられます。本虫が高密度となると坪枯れ被害を生じるため、県内の水稲(普通期稲)栽培地域においてはトビイロウンカの発生動向に十分注意するとともに、下記の防除対策について指導の徹底をお願いします。

記

「防除対策」

- 1) トビイロウンカはほ場内で局所的に発生するため、ほ場全体の見回りを徹底してください。また、成虫、幼虫ともに株元に寄生するため、株元を注意して観察してください。
- 2) 薬剤防除に当たっては、株元まで薬剤が到達するように散布してください。また、県の「病害虫防除指針」を参照し、農薬使用基準の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策の徹底をお願いします。

県病害虫防除指針 <http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>



写真1 トビイロウンカ雌成虫
(左：短翅型、右：長翅型)



写真2 トビイロウンカによる坪枯れ被害

表1 普通期稲におけるトビイロウンカの発生状況(7月19～26日調査)

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	栽培面積 (ha)	発生 ほ場数	調査 ほ場数
東 部	0.0	0.0	387	0	12
中央部	2.8	0.3	1,242	1	18
中西部	24.8	0.6	2,327	1	30
西 部	0.0	0.0	894	0	8
県合計	27.6	0.9	4,850	2	68

表2 早期稲におけるトビイロウンカの発生状況(7月19～26日調査)

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	栽培面積 (ha)	発生 ほ場数	調査 ほ場数
東 部	0.0	1.5	652	0	12
中央部	13.9	0.7	3,465	3	40
中西部	5.8	0.2	680	1	14
西 部	0.0	0.0	1,393	0	16
県合計	19.7	2.4	6,190	4	82

お問合せは、病害虫防除所(TEL : 088-863-1132)または環境農業推進課(TEL : 088-821-4861)まで